

## 抗アミロイド前駆体タンパク質 (APP) N-末端 抗体, ウサギ抗血清 (AN2)

74-106 100 µl

保存: 4°Cまたは-20°Cで送付、-20°Cで保存

抗原: ヒト APP N-末端 (アミノ酸 No.18-38) に相当する合成ペプチド

形状: 0.05% sodium azide 添加ウサギ抗血清

反応性: ヒト、マウス、ラット

### 用途:

1. ウェスタンブロッティング (希釈: 1/3,000-1/1,000)
2. 免疫細胞化学 (希釈: 1/1,000-1/500)

他の用途は調べられてない。

**背景:**アルツハイマー・アミロイド前駆体タンパク質 (APP) は一回膜貫通型タンパク質で、多くの組織に発現しているが、特にニューロンのシナプスに集積している。このタンパク質は通常は、神経の成長と修復に欠かせない役割を果たしていると考えられている。APP が切断されると、その断片の一部がアミロイドβ(Aβ)と呼ばれる 39 から 42 個のアミノ酸からなるペプチドに成る。アミロイドβ は互にくっつきやすく、脳内に蓄積すると老人斑を形成し、この老人斑が神経細胞を死滅させてアルツハイマー病が発病すると考えられている。プロテアーゼ・インヒビター・ドメインを欠く APP695 は神経組織に主に見られるアイソフォームである。ヒト APP N-末端 (アミノ酸 No.18-38) に対する抗体 (AN2) がウサギで作成された。

データリンク: UniProtKB/Swiss-Prot [P05067](#) (A4\_HUMAN)

文献: この抗体は文献 3 と 4 に用いられた。

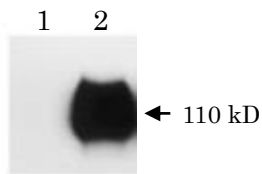
1. Kang HG *et al.* (1987) "The precursor of Alzheimer's disease amyloid A4 protein resembles a cell-surface receptor." *Nature* **325**: 33-736 PMID: [2881207](#)
2. Selkoe DJ (1994) "Normal and abnormal biology of the beta-amyloid precursor protein." *Annu. Rev. Neurosci.* **17**: 489-517 PMID: [8210185](#)
3. Nishimura I *et al.* (2002) "Cell death induced by a caspase-cleaved transmembrane fragment of the Alzheimer amyloid precursor protein." *Cell Death Differ.* **9**: 199-208 PMID: [11840170](#) **WB, IC (human)**
4. Nishimura I *et al.* (2003) "Upregulation and antiapoptotic role of endogenous Alzheimer amyloid precursor protein in dorsal root ganglion neurons." *Exp. Cell Res.* **286**: 241-251 PMID: [12749853](#) **IC (mouse)**

### 関連製品:

**#74-104** anti-APP (C-terminus) antibody,

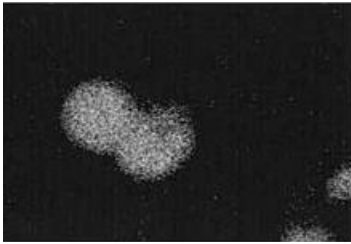
**#74-108** anti-APP (C-terminus of the caspase 3-cleaved APP) antibody,

**#74-110** anti-APP Δ 31 (specific to C-terminal APP Δ 31) antibody



**図1 APPのウエスタンブロッティング**

$\beta$ -galactosidase を発現しているアデノウイルス（レーン1）または野生型 APP を発現しているアデノウイルス（レーン2）を感染させたヒト NT2 ニューロン細胞をこの抗体を用いたウエスタンブロッティングで解析した。野生型 APP は NT2 細胞に多く発現していた（文献3）。



**図2 APPの免疫蛍光細胞染色**

マウス dorsal root ganglion 細胞をこの抗体で処理して、神経細胞における APP の発現を調べた（文献4）。